

平成28年3月22日
野菜業務部 直接契約課

第26回加工・業務用野菜産地と実需者との交流会（国産野菜の契約取引マッチング・フェア in 東京）の概要について

3月15日（火）、東京流通センター（東京都大田区）において、標記交流会を開催しました。その概要は、以下のとおりです。

1. 出展者・来場者

今回は、全国各地から127の事業者・団体が出展し、このうち初出展者は38（生産者団体3、生産者20、流通業者7、加工業者8）でした。また、多数の来場者を迎えるなかで、各ブースでは商談や情報交換が行われるなど、終日賑わいをみせました。



オープニングセレモニーには、来賓として齋藤農林水産副大臣にお越しいただき、祝辞を頂戴しました。その後、各ブースを視察され、出展者との意見交換が行われました。

- ・ 出展者数 127者（生産者団体 11、生産者 50、流通業者 25、加工業者 18、種苗会社 13、植物工場 6、その他 4）
- ・ 来場者数 801名（量販・小売店 58、卸・仲卸・商社 313、中食・外食等 49、食品製造・加工業 67、JA・生産者 131、行政・研究機関等 74、種苗会社等 18、マスコミ 19、その他 7）



2. 特別商談会

マッチングをさらに後押しするため実施している「特別商談会」（個別・予約制の商談会）には、実需者9者と出展者32者により、前年を上回る77件の商談が行われました。



3. 加工・業務用野菜対策についての説明会

セミナー会場では、農林水産省の担当官と機構職員により、リレー出荷の特例措置を含む契約野菜関連事業について、説明会を行ないました。



4. 野菜産地と実需者とのセミナー・パネルディスカッション

また、同会場では、野菜流通カット協議会主催の「野菜産地と実需者によるセミナー・パネルディスカッション」が開催され、約200名の参加がありました。産地及び実需者からの話題提供ののち、様々な議題について、活発な意見交換が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



- ・ パネラー 八代地域農業協同組合 中央営農センター 係長 富永 隆裕 氏
横浜丸中青果株式会社 取締役主管 岡田 貴浩 氏
農林水産省 政策研究所 上席研究官 小林 茂典 氏
農林水産省 園芸流通加工対策室 課長補佐 宇井 伸一 氏
- ・ コーディネーター 一般社団法人 JC 総研 客員研究員 仲野 隆三 氏

※第26回交流会の開催概要（詳細）については、当機構が発刊している野菜情報5月号に掲載します。

URL : <http://www.alic.go.jp/>

野菜情報

で検索